

YC だより

YC(読売新聞販売店)より耳寄りな情報をお届けします。

県内のスポーツ情報も随時掲載致します。

大人の家黒缶ブラック・無糖!!

GIANTS cafe

GIANTS cafe

ブラック・無糖/コーヒー

微糖/コーヒー

読売新聞

東京ドーム周辺の自動販売機など限られた場所では販売されていない「ちよつとプレミアム」な缶コーヒーをご賞味あれ!!

ジャイアンツカフェ ブラック・無糖

ジャイアンツカフェ 微糖

申込番号 939051

厳選したコーヒー豆をバランスよくブレンドし特別抽出しています。第一次抽出は高温で抽出しビター感を出し、第二次抽出は低温で行い酸味を押しさえクリアな味わいを表現しています。

●容量:185g(1缶) ●原材料名:コーヒー(国内産) ●賞味期限:2024年11月4日 ●日本製

申込番号 939052

酸味とコクを中心とした味わいのコーヒー豆を使用することで、コーヒー本来の風味と香りを出し、濃縮乳と全粒粉はコーヒー感を邪魔しない、コクのある飲みやすい微糖コーヒーに仕上がりました。

●容量:190g(1缶) ●原材料名:コーヒー(国内産)、砂糖、濃縮乳、全粒粉、デキストリン、乳化剤、甘味料(アセスルファムK) ●賞味期限:2024年11月4日 ●日本製

各1ケース 30本入り

税込 4,200円

+送料(税込) 660円

宅配便

ジャイアンツカフェは読売巨人軍公認の飲料です

企業番号 5858 受付締切 2024年5月23日(木) 商品配達 6月上旬より順次

支払方法 ①商品お買いの額に代金と引き換え(代引手数料無料) ②クレジットカード(毎月一括払い、リボ払い、分割払い) ※ご本人名義に限り、一部、複数カード登録は入れられない場合がございます。

1ケースにつき 送料(税込) 660円 宅配便

読売新聞 ねせば 読売情報開発 リテール課 1102-9818 東京都千代田区平河町2-13-3

※ご注文の際は企業番号・申込番号をおペーラーにお申し付けください。

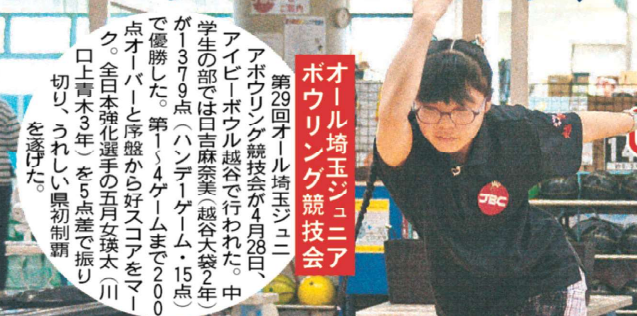
※お客のご都合による返品は受け付けておりませんので予めご了承ください。商品の汚損・破損などについては、商品到着後、速やかにご連絡ください。運送担当者様へ新しい商品とお取り替えいたします。

※送料:お客様住所から目的地まで送料がかかります。ご注文いただいた日(日)は(日)の送料を、ご注文、配達日、配達時間帯の曜日別、株式会社読売新聞販売(〒1102)とお客様の地域を記す送料センター(YC)が共同で利用し、最速のお届けの保証、お客様からのご連絡やお問い合わせの対応、販売促進キャンペーンのご案内、サービスのご案内、宅配業務の進行、各種サービスイベントのお知らせ、ご購入の勧め、ご購入以外の販売商品の案内、YC及び読売グループが主力・提携する企業の商品・サービスのご案内、宅配業務に利用させていただく場合があります。なお、お客様の個人情報は、当社とYCが責任をもち管理し、個人情報の取扱い、読売グループでの共同利用については、https://info.yomiuri.co.jp/privacy-policy/kyoudo/uryou.htmlをご覧ください。

全日本強化選手・五月女倒す!!



県初制覇を遂げた日吉



レーンコンディションを読み切って高得点を挙げた日吉

うれしい県初制覇

▽中学生の部 ①日吉麻奈美(越谷大袋) 1379 ②五月女瑛太(川口青木) 1374 ③千葉朝陽(越谷光陽) 1333

喜怒哀楽をほとんど見せず淡々と投げ続けた日吉が最後の打球を終えて初めて口元を少しだけ緩め、柔和な表情を見せた。「県大会での最高は小6の時の3位。初めての優勝なのでうれしい。試合中の潔くしんどさは違い、あどけない笑顔を浮かべた。

オール埼玉ジュニアボウリング競技会 第29回オール埼玉ジュニアボウリング競技会が4月28日、アイビーホール越谷で行われた。中学生の部では日吉麻奈美(越谷大袋)2年が1379点(ハンデーゲーム・15点で優勝した。第1〜4ゲームまで200点オーバーと序盤から好スコアをマーク。全日本強化選手の五月女瑛太(川口青木3年)を5点差で振り切り、うれしい県初制覇を遂げた。

スタートで自身の好調さに自信をつけ波に乗った。「いつも最初が悪いのに、今日は最初からレーンのオイルと球の相性が良かった」と、球の相性が良かったと、第1ゲームで200点、第2ゲームで246点とこの日の自身ハイスコアをマークすると、後半の第4ゲームでも第1フレームから5連続ストライクなど好調を維持した。

読者の声

狭山市 K・Tさん (男性) 一孫はまた小さいですが、大きくなったらスポーツの記事に掲載されたら嬉しいと思います。

比企郡嵐山町 K・Oさん (男性) スポーツ施設に勤務しています。サッカー、野球、バドミントンなど、子供たちが一生懸命がんばっている姿を見るのが楽しみです。

幸手市 O・Mさん (男性) とても躍動感のある写真が多く、楽しく読んでいます。

「最初からレーンのオイルと球の相性が良かった」スタートで波に乗る

全国5位で、自信。

小学1年から競技を始め、週2回の練習を「楽しく投げてきた」という日吉。転機は5年時に初めて出場した全国大会だった。「入賞するなんて思っていなかった」という大舞台で、自信が「ついた」と、夢中になり過ぎないスタンスは変えず、自分で考える練習をこなしてきた。この日、オイルと球の相性を素早く読み切れたのもその成果。6年時に同じく5位入賞を果たした全国大会だが、中学生の部となった昨年は入賞を逃した。「簡単な入賞をミスしたり、それをカバーもできなかった」。もちろん、今年はその課題への練習もバッチリの。男女別の試合となる7月の全国大会(感知)へ日吉は今年の目標は優勝。

▽小学生の部 ①星野礼登(川口前川東) 1231 ②野口潮衣(杉戸二) 1102 ③白瀬玲菜(二郷高洲) 1017

▽高校生部 ①石井ことろ(松栄学園) 1378 ②丸山瑛聖(狭山工) 1463 ③中根聖吾(昌平) 1326

全日本強化選手の五月女と一騎打ちとなった第5、6ゲームは198点、182点と落としたが、日吉は「私にとっては後半でのこの点数は、いつもより高い」と意に介さず、ハンデー切り最後は5点差での逃げ切り。「一本当り追いつき感で怖かった」と、本音も漏らした。

257点マークするも

スコアでは85点差ついでに五月女「写真」だが「不完全燃焼。思うようにピンが取れなかった」と、内容的にも不満が先に立った。第4ゲームで7連続ストライクなどで257点をマークしたが「ビッグゲームが1回だけでは」と反省を続けた。それでもスプリットではないオープンフレームは2回だけという結果には「イメージミスはなかった」と、全日本ジュニア強化選手として実力も見せた。昨年の全国では準Vだった五月女は「今年こそ全国タイトルを取る」と真つすぐな視線を向けた。

す。新聞が届くのを楽しみに待っています。

章加市 T・Tさん (女性) 「紙面がカラフルで読みやすいです。記事に載っている子供たちと同じ年代の子供がいて、やはりスポーツをしているの、自分の子供のころのようになっています。1ヶ月に一度の配達を楽しみにしています。」